

次世代育成支援行動計画 実施状況のお知らせ



平成17年3月に策定した「小野町次世代育成支援行動計画」は、次世代を担う子ども達の幸せを第一に考え、保護者が子育てについて第一義的責任者を有するという基本的認識のもと、子育てをする人への支援施策の指針として、平成17年度から平成21年度までの5年間(前期計画)の具体的な施策を定めています。主な施策の実施状況をお知らせします。

施策(事業名)		具体的施策の展開内容	平成19年度の実績	平成20年度11月末状況
地域子育て支援センター事業		地域子育て支援センターを設置し、「相談事業」「子育てサークル・ボランティアの育成」「情報提供」等の支援を行う。	平成18年4月、夏井おおすぎ保育園に子育て支援センター開設 ●延べ利用者数 945名	●延べ利用者数 793名
特別保育事業	延長保育事業	中央さくら保育園で、月曜日から土曜日まで、午前7時から午後7時までの延長保育を行う。	平成17年4月から開始 ●延べ利用者数 344名	●延べ利用者数 282名
	一時保育事業	保護者の急病などに伴う一時的な保育に対応するため、夏井おおすぎ保育園で一時的に預る。	平成17年10月から開始 ●延べ利用者数 241名	●延べ利用者数 101名
幼保一元化の推進		県幼保連携パイオニア事業の指定を受け、小野わかば幼稚園と中央さくら保育園の連携を試行し、幼保一元化を推進する。	●幼保一元化に向け、統一カリキュラムの実践・合同保育の実施	●パイオニア事業の成果(統一カリキュラム、合同保育)の実践
放課後子ども教室推進事業(放課後子ども教室)		放課後に学校教育施設や社会教育施設等でスポーツ・文化活動などの体験活動や地域住民との交流活動を実施し、子どもたちの豊かな心を育む。	平成19年6月から小野新町小学校において「放課後子ども教室」を開設 ●延べ開設日数 127日 ●利用登録者 51名	●延べ開設日数 128日 ●利用登録者 67名

- 少子化・子育て支援対策は、町の財政面や地域の実情に応じて進めてきています。
- 県の委託を受け実施した「幼保連携パイオニア事業」での成果を踏まえ、幼保統一カリキュラムや合同保育を実践し幼保一元化へ向けて取り組むとともに、総合施設の整備及び開設に向け基本構想を策定する等、保育・教育環境の充実を図ります。
 - 夏井おおすぎ保育園内に開設した小野町子育て支援センターでは、毎週水曜日に施設を開放し「遊びの広場」及び「育児相談」を実施し、子育て中の母親の利用が増加しています。
 - 放課後児童クラブ事業(学童保育)は、今後、実施に向けて検討しています。